

長門市出身のクレスコ代表取締役社長執行役員

とみなが

ひろし

富永 宏さん(56)

談話室

メガバンクの情報システムや旅行の予約サイトシステム、運送会社の荷物追跡システム。企業活動や生活を支える世の中のさまざまな仕組みの開発を手がける独立系システムインテグレーターの新長職を昨年春から担当。「表には出ずに裏で支える存在。当社をつくったシステムで顧客が発展してくれることが重

要」と話す。

社名「クレスコ」の由来は「成長する」という意味のラテン語。社員が共に喜びと誇りを持ち、各自の能力を最高に発揮できることが企業の使命と考えての命名だ。「資格取得の推奨など社員をしっかりと大切に育てていく会社。自分もそうやって育てられてきたので（この社風を）後世に残していきたい。時代に合った技術者を育てる」

長門市出身。祖父は長門高

校の初代校長を務め、父は生物の教諭だった。「自分よりも社員が生き生きと働いていることを楽しく感じる。教育者の遺伝子かな」と笑う。

社長就任前に責任者として作成に携わった中期経営計画（2021～23年）では30年に向けてグループ全体で1千億円の売上高を目指している。現在の約2倍に当たる数字だ。デジタルソリューションの強化や人間中心の経営の深化、ITサービスの拡大などを通じて達成に挑む。

大津高（当時）、大阪電子

専門学校卒業。1990年にクレスコ入社。趣味はドライブやゴルフ、温泉など。「故郷への思いはかなり強い。山口県を盛り上げたい」と地域貢献への意欲を燃やす。

